

神室のいすみ



山形県神室少年自然の家

令和8年2月号

〒999-5301 最上郡真室川町大字川ノ内字水上山 3414-5
TEL0233-62-2611 FAX0233-62-2613

今年度最後の企画 一般開放事業 「かむろスノーフェス」開催！

ねらい「冬の神室に大人も子どもも集まり、雪遊びを楽しみ、相互交流を図る」をもとに、2/7（土）に開催しました。79名の方から申込みいただき、右記内容を楽しみました。参加者の方の感想を一部紹介させていただきます。

- ・大人も楽しめる内容でした。また、他の人とも触れ合えるいい機会でした。
- ・ダイナミックに雪遊びができて、満足度が高かったです。
- ・いろいろな子と交流できた。スタッフの方々がおもしろかった。

感想から、事業のねらいが達成できたととらえています。

次年度は、5月9日（土）「神室スプリングフェス」を予定し、多くの皆さんに楽しんでもらえるよう企画中です。

今年度の事業への参加ありがとうございました。

<主な内容>

- 雪上ゲーム
 - ・赤そり競争
 - ・宝探しゲーム
 - ・〇×クイズ
- 自由雪遊び
 - ・スノーチューブ
 - ・ジャンボスレー
 - ・けつそり
 - ・雪板
 - ・竹スキー
 - ・雪玉ストラックアウト
 - ・神室槍ヶ岳登り（雪像）
- 昼食タイム（カレーうどん）
- お祭りタイム・おやつ販売（おしろこ、玉こん等）



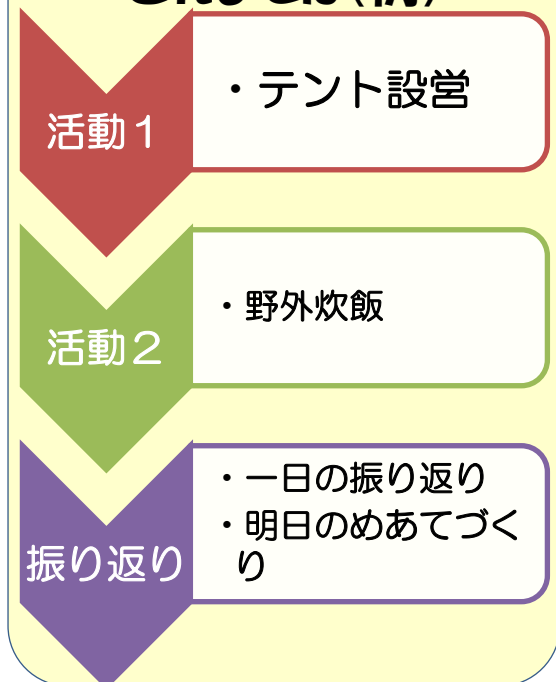
体験学習支援事業(ガイドセミナー、プログラム体験会)について

本事業により、本所の使用の仕方や活動の行い方だけではなく、体験学習サイクルについて理解を深めることができる機会です。ぜひ、体験学習サイクルを学ぶ研修の機会としていただき、利用担当はもちろん、他の職員の方の参加も歓迎いたします。下記に基本的な考えを記載しましたが、このことを理解することにより、活動がより効果的に展開し、児童生徒により確実に「つきたい力」をつけることにつながると考えています。

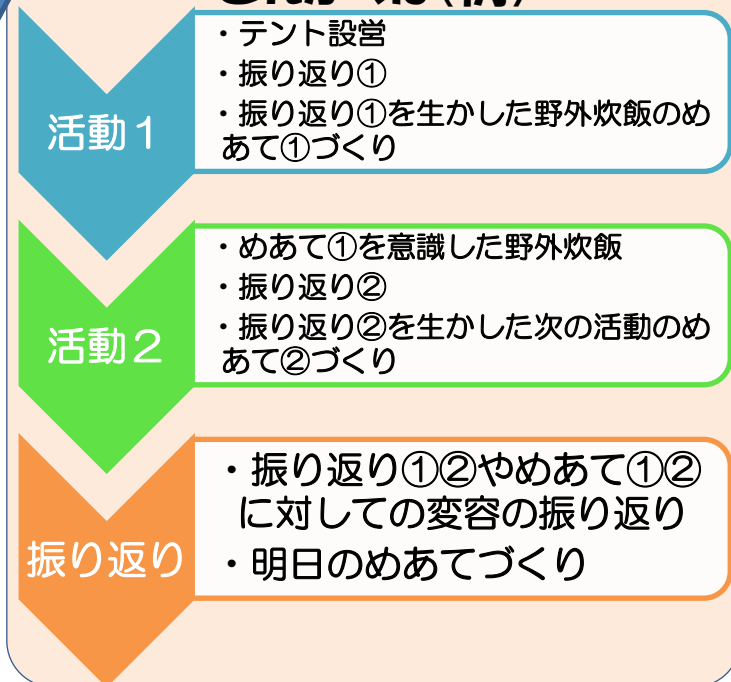
体験学習サイクルの活用をサポートします！

第7次山形県教育振興計画では、県民みんなでチャレンジ「体験」「探究」「尊重」「協働」の4つが大切にされています。神室少年自然の家では、以下のような体験学習サイクルを生かしたプログラムを重視し、各校のプログラムづくり、運営をサポートしてまいります。

これまでは(例)



これからは(例)



体験学習サイクル



★体験を通して得た「学び」を、「振り返り」を通して、「次の体験」につないでいく学びの循環サイクルです。

★神室の体験学習サイクルで一般化したものが、学校生活や実生活につながっていくことを大切にしたいと考えています。

体験学習サイクルと7教振の4つのチャレンジ

体験活動サイクルでは、「**体験**：わくわく無限大」はもちろん、その体験が課題解決的な要素が多ければ多いほど、「**探究**：なんで？を大切に」が生まれます。また、振り返りや次のめあてづくりでは、「**尊重**：みんなが主役の応援団」や「**協働**：みんなで笑顔」が一つの視点となります。

子どもたちが、どんな時に活動がうまくできて、どんな時にうまく出来ないのかを一般化（言語化）することが、体験学習サイクルのポイントです。

これらサイクルの繰り返しが、子どもたちのウェルビーイングに対する資質を育むものと考えています。